

# TANGO EMOTION

エンリケ・クッティーニ楽団  
タンゴエモーション

Enrique Cuttini y su ORQUESTA

ブエノスアイレスに漂う酒の匂いと煙草の煙  
バンドネオンの切ない嘆きと  
未来に響く歓喜の鍵盤  
昨日までの現実が  
忘却の彼方に  
消えていく...

## 演奏予定曲

『エル・チョコロ』  
『ラ・クンパルシータ』  
『リベル・タンゴ』  
『シャルダス』  
『ベサメ・ムーチョ』  
『ジェラシー』  
etc...

2017.11.25日 15:00開演 [14:30開場] ゆめたろうプラザ 輝きホール 全席指定

チケット

前売	ゆめプラメイト	¥3,000 (お一人様2枚まで)	発売日	ゆめプラメイト	8月26日(土)
	一般	¥3,500		一般・チケットぴあ	9月2日(土)
当日	学生(大学生以下)	¥1,000			
	メイト・一般	¥4,000			
	学生(大学生以下)	¥1,500			

4枚同時購入で グループ券(一般×4) ¥13,000  
とってもお得! ※前売りのみ ※ゆめたろうプラザでの取扱いのみ

取扱い ゆめたろうプラザ  
チケットぴあ ☎0570-02-9999(Pコード:338-186)

※未就学児の入場はご遠慮ください  
※車椅子席をご利用の方は事前にご予約ください  
※電話予約は各発売日の翌日からゆめたろうプラザ(代金引換郵便の申込みは11/11(土)まで)  
※託児あり(1歳半以上/1名500円/定員10名まで/要予約 11/15(水)まで)  
※町内送迎車あり(名鉄知多武豊駅・JR武豊駅経由/片道100円/要予約 11/15(水)まで)

■主催：NPO たけとよ／武豊町教育委員会／ハンブトンジャパン(株)



お問合せ



ゆめたろうプラザ 武豊町民会館  
〒470-2555 愛知県知多郡武豊町大門田11番地

TEL 0569-74-1211 <http://www.town.taketoyo.lg.jp/kaikan/>

FAX 0569-74-1227 休館日：月曜日(祝日の場合翌平日)及び年末年始 受付時間：9:00～21:00



# TANGO EMOTION

タンゴエモーション

エンリケ・クッティニニ楽団 Enrique Cuttini y su ORQUESTA

## ～哀愁と旋律と情熱のリズムが織り成すタンゴの世界～

ブエノスアイレスの場末で故郷を捨ててきた移民たちが生み出した娯楽、タンゴ。それは時を超え洗練され、現在では様々な音楽の中で確固たるジャンルを築きあげました。その源流であるアルゼンチンタンゴは、猥雑なエネルギーと繊細なメロディーを併せ持つ希有な音楽です。人が生きる喜びや悲哀といった心のうつろいを表現する演奏家と、曲中で出会い別れていくダンサーたち。

日本の反対側で生まれたアルゼンチンタンゴは、古典として風化することなく言葉も文化の違いも超えた普遍的な感動を我々に与えてくれます。



### ■ Enrique Cuttini (エンリケ・クッティニ)

1943年、アルゼンチン共和国、ルハン市生まれ。4歳からピアノを始め、幼年の頃より頭角を現し、数々のピアノコンクールに入賞する。1968年、弱冠25歳で文部省の推薦により、サン・フスト女性合唱団を引率し、南米ペルーを巡る。現在は自身が率いるエンリケ・クッティニニ楽団のピアニスト兼マエストロとして活躍する傍ら、本国アルゼンチンでは大学教授も務めている。

1987年に初来日して以来、現在までに毎年来日を果たしており、公演数は延べ700公演以上で、来場者数

は20万人以上に上る。

2003年5月に韓国・ソウルにて行われたArts Festival「Folk & Modern」では、招待公演として国立ヘオルム劇場のメインを飾り聴衆を熱狂させた。同年、10月には再び韓国の全州市にあるSori Arts Centerより招待されて公演を行い、好評を博す。

アルゼンチンの大自然や人の心の移ろいを表現したタンゴの名曲と、音楽史に残る名曲の数々。それらの美しいメロディーを活かしつつ、広く大衆にわかりやすいように独自のアレンジが施されたステージは、彼の軽やかなピアノと親しみやすい人柄もあいまって、アルゼンチン国内はもとより、日本においても多くのファンを掴んでいる。

## Questionnaire

### ■ 過去のアンケートより抜粋しました。

- 期待以上に楽しませて頂きました。子供にもホンモノを感じさせてあげられました。  
(41歳・女性)
- 解説(司会)もあり、クッティニさんも親しみやすい方でお客さんみんなが楽しめてとても良かった。  
(23歳・女性)
- バンドネオンの音色が印象的。ピアノとバイオリンのスリリングなプレイやコミカルダンスもあって、時に楽しく時に切なく、とても楽しめました。  
(43歳・男性)
- このコンサートに来たのは3年ぶりですが、クッティニさんは相変わらず楽しい。懐かしい曲も聴けて、若い頃を思い出しました。  
(72歳・男性)
- 友達に誘われて何となくついて来ましたが、ロマンチックなダンスに引き込まれ、最後は私の方が夢中で見入ってしまいました。  
(65歳・女性)